

全国で養護教諭として活躍する卒業生～北海道から沖縄県まで～

多くの卒業生が日本各地で養護教諭として活躍しています。昨年度は、北は北海道から、南は沖縄県まで、文字通り全国各地の教員採用試験に合格し、4月より養護教諭として勤務しています。出張や実習巡回等の機会を利用して、各地の卒業生の保健室を訪問しています。各校種の保健室の養護教諭として活躍している卒業生の頼もしい姿に感動し、毎回エネルギーをもらっています。

私は関西福祉科学大学で4年間学び、地元である沖縄県へ帰りました。初めの1年間は、別の仕事をしていて、翌年から養護教諭として働くことが決まりました。大学へ進学する時から、卒業後は地元へ帰って養護教諭として働きたいと思っていたので、夢が叶う喜びとともに、しっかりと役割が果たせるのかという不安な気持ちもありましたが、養護教諭としての生活がスタートして、半年が過ぎようとしています。

私の働く学校は、中規模の高等学校ですが、生徒数に対して保健室の利用者数が多いため、2年前から養護教諭が2人配置されています。初めて養護教諭として働く私にとっては先輩の先生に日々指導していただきながら、多くの生徒を対応することができる環境の中で過ごせているので、毎日とてもいい勉強になっています。

私が生徒を対応していて特に感じていることは、救急処置の重要性です。救急搬送される生徒や、顔面の怪我など重症度の高い生徒が予想していた以上に多くいると感じていて、適切な応急処置や受診の必要性の判断は養護教諭として自信を持ってできなければならないと実感する日々です。

このように緊張感もある日々ですが、生徒たちはとても素直で人懐こく、生徒たちと関わる時間はとても幸せです。また職員同士もとても仲が良く、何気ない日常での関わりの中から多くのことを学ぶことができます。良い環境に恵まれていることに感謝しながら、まだまだこれからたくさんの経験を積みながら、一步一步養護教諭として歩んでいきたいです。

(沖縄県立高等学校 10期生)



<理事長と一緒に高校訪問しました！>